



# 工業会

確かな技術で50年  
これからも守り続ける未来の安全

The Japanese Association For Non-Destructive Testing Industry (JANDT)

発行元 一般社団法人日本非破壊検査工業会  
〒101-0047  
東京都千代田区内神田2丁目8番1号 富高ビル3F  
電話 03-5207-5960 FAX 03-5207-5961  
URL : <http://www.jandt.or.jp/>  
E-mail : [jandt@jandt.or.jp](mailto:jandt@jandt.or.jp)  
編集 : 広報部会

## 令和4年度 定時総会を開催

第26期第51回定時総会が、6月20日に東京都千代田区内の如水会館／東京會館において、正会員162名(内 委任状出席者103名)出席のもと開催された。

総会に先立ち、松村康人理事長は「新型コロナウイルス感染症の影響で社会活動や経済活動が変化し、ネットの活用が日常的になってきている。当工業会においても各種会議や資格認証に関わる講習のオンライン化などを図っている。また、国が進めるデジタル化に伴い各種行政手続きがWeb申請となり、産業界でも立会いの合理化が図られるとともに、石油化学や電力の分野では状態監視の技術開発が勧められている。今後、業界や業務の在り方が変わっていくことが想定される。この機会に、事業の進め方を検討され、会員企業が発展されることを記念する。」と挨拶がなされた。

総会では、令和3年度事業報告、令和3年度財務諸表等の承認並びに監査報告および第26期の理事及び監事の選任について審議され、満場一致で承認された。



定時総会のもよう

松村康人理事長

続いて令和4年度事業計画・収支予算書が報告された。依然として新型コロナウイルス感染症が継続し、その対策による事業業績への影響が懸念されなか、非破壊検査技術の高度化に関する調査・研究・開発及び非破壊検査の普及・啓発などに関する施策を引き続き推進するほか、主要事業である非破壊検査に関する講習会・セミナーや非破壊検査に係る技術者資格認証事業を推進する。また、官公庁などの公的機関及び大学並びに業界関連団体との連携強化を図り、非破壊検査業界の発展と普及に努めていくとの説明があった。

## 本年度総会での表彰

工業会賞	<p><b>松村 康人 氏 (株式会社辰起非破壊検査工業)</b> (表彰理由) 第9期～第17期理事、第18期副理事長、第19期～第25期理事長。配筋探査およびインフラ調査士認証制度の創設、公明党非破壊検査技術振興議員懇話会の創設、日本標準産業分類への非破壊検査業の規定などに尽力し、非破壊検査業界の社会的地位の向上及び発展に貢献されました。</p>
	<p><b>八木 洋兒 氏 (株式会社アイ・エム・シー)</b> (表彰理由) 第14期～第17期及び第20期～第21期理事、第22期～第25期監事。第20期～第21期関西支部長。配筋探査資格制度創設時の事業基盤の構築、新たな事業活動に関わる調整役、理事の職務執行の監査に注力し、認証内部監査や業務監査の改革を進め、当工業会の健全な事業運営に貢献されました。</p>
功労賞	<p><b>森本 量也 氏 (東洋検査工業株式会社)</b> (表彰理由) 第24期～第25期理事、第24期認証副部長及び教育副部長、第25期認証部会長。配筋探査認証制度における電磁波レーダ法と電磁誘導法の資格分割等、資格認証制度全体の制度改革を推進し、認証事業の基盤再構築に貢献されました。</p>
	<p><b>相村 英行 氏 (栄進化学株式会社)</b> (表彰理由) 第20期～第25期機材支部幹事、第24期～第25期理事、第24期～第25期 機材支部副支部長。第24期～第25期展示会委員長として手腕を発揮し、中堅技術者育成のためのNDT塾を創設し、非破壊検査業の普及・発展に貢献されました。</p>
技術奨励賞	<p><b>宮下 和太 氏 (株式会社IHI検査計測)</b> (表彰理由) サンプリングモアレ法に関し橋梁などの構造物への適用を図るために、格子ターゲットの代替として周期模様を持つボルト集合部を用いる手法を開発し、その事例を報告するなど、非破壊検査技術の普及と技術向上に貢献されました。</p>
	<p><b>田中 雄介 氏 (ジャパンプローブ株式会社)</b> (表彰理由) 曲面や凹凸面から行う超音波計測法や、非接触計測や空中超音波で発生する現象と原因分析及び分析に必要な評価方法の研究・開発を推進し、その事例を報告するなど、非破壊検査技術の発展と普及に寄与する活動を推進されました。</p>

## 第26期(令和4年・令和5年度)役員

### 【理事長(代表理事) 長岡 康之 ごあいさつ】

去る6月20日(月)の令和4年度総会に併せて開催されて理事会において理事長を拝命し、その重責に身の引き締まる思いであるとともに、誠心誠意努めさせていただき所存であり、理事長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。



まず初めに、前理事長の松村康人氏が今まで進められてきた、配筋探査技術者やインフラ調査士の資格認証事業並びにeラーニング等による各種講習会事業の継続、次に会員相互のコミュニケーション活性化、最後に会員満足として「会員でなければ損をする」と思える仕組み作りの3点を柱に据え、会員皆様のご理解とご協力のもと当工業会の発展に邁進する所存でございますので、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

### 【副理事長(理事長代行) 岡 賢治 ごあいさつ】

この度、副理事長に選任され、第26期も前期に引き続き副理事長を務めさせていただくことになりました。日本非破壊検査工業会の会員の皆様には日頃から当工業会の諸活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。



第19～25期まで理事長を務められた松村康人氏は、資格認証制度の創設や、新たな市場創出に向けた施策を推進され、当工業会の業界での社会的地位向上と発展に貢献されました。その路線を引継ぎ、今期新たに、長岡康之新理事長の下、錦戸陽介副理事長、埴晴行専務理事および理事・幹事の皆様との協力体制にて、その時々に応じた運営組織の改革を実施し、弾力的な工業会運営の実施に努めて参りますので、引き続き、皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

### 【副理事長(理事長補佐) 錦戸 陽介 ごあいさつ】

この度、第26期(令和4年・令和5年度)副理事長に就任いたしました錦戸陽介でございます。

当工業会は創立50周年の節目を迎え、長岡康之理事長のもと新たにスタートすることになります。微力ではございますが先輩理事の方々並びに会員各社の助言、ご協力を仰ぎ、新体制のもと各種業務を進めてゆく所存であります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



ここ2年ほどは新型コロナの影響により、会員各社へのサービスであるNDI受験対策講習、交流会、等の開催が実施できず、また、認証部門ではインフラ調査士受験者数の伸び悩みも見られ、当工業会を運営するにあたり最重点項目として取り組みたいと考えます。会員各社のご協力を心からお願い申し上げます。

## 新任役員を紹介

定時総会において理事13名及び監事1名の重任と、新任理事として美濃部光正(トーレック)、的場正文(東洋検査工業)、野口博文(新日本非破壊検査)、新任監事として小池幸洋(ダンテック)以上4名が承認された。また、松村康人、森本量也、相村英行、八木洋児は退任となった。



美濃部光正 理事



的場正文 理事



野口博文 理事



小池幸洋 監事

### 会務担当役員

理事長	長岡康之
副理事長(理事長代行)	岡賢治
副理事長(理事長補佐)	錦戸陽介
専務理事	埴晴行
総務部会	部会長 長岡康之
	副部会長 岡賢治、錦戸陽介
広報部会	部会長 小田原勝彦
	副部会長 富田裕樹、清水重之、美濃部光正
技術部会	部会長 安田裕之
	副部会長 出牛利重、中村英之、美濃部光正
教育部会	部会長 坂本敏弘
	副部会長 的場正文、野口博文

認証部会	部会長 錦戸陽介
	副部会長 渡邊正宏、清水重之
安全部会	部会長 猿渡保
	副部会長 出牛利重
東日本支部	支部長 渡邊正宏
	副支部長 小田原勝彦
関西支部	支部長 富田裕樹
	副支部長 的場正文
西日本支部	支部長 清水重之
	副支部長 野口博文
機材支部	支部長 猿渡保
	副支部長 美濃部光正
監事	塩山哲生、小池幸洋



## 創立50周年記念式典・記念講演

総会に引き続き如水会館（オリオンルーム）において、創立50周年記念式典・記念講演が執り行われた。

記念講演は、「生産性アップの新常識～危機を好機に変えるレジリエンス～」と題し、体脂肪計で世界一となり、社員食堂でも話題になった株式会社タニタの創業ファミリーであり、現筆頭株主でもある谷田昭吾講師（現在、ヘルスケアオンライン株式会社 代表取締役）により、前経営者である父から学んだ経営学や、ポジティブ心理学の視点から「成功法則」をビジネスや日常生活で実践する方法をご講演いただいた。

記念式典では、開会の辞として松村康人50周年記念実行委員長は「1972年1月5日に非破壊検査振興協会として発足し、50年の歩みを刻むことができた。順調に発展できたのは、ひとえに関係官庁及び関連学協団体のご指導ご鞭撻並びに会員企業の皆様のご尽力の賜と深く感謝申し上げます。」と謝辞を述べた。また、長岡康之理事長は「これからの工業会は、メタル系だけでなく複合材料にも目を向け、製造時の品質保証と使用中の安全確保を目的に非破壊検査を実施し、安全・安心な社会の構築に尽力する。」と述べた。

ご祝辞は、齊藤鉄夫国土交通大臣より「これまで築き上げた社会インフラを、どのようにメンテナンスしていくか。それを決めるのが非破壊検査であり、これからも社会生活の中心となる技術である。」とお祝いの言葉をいただいた。経済産業省製造産業局産業機械の安田篤課長からは「発電設備及び石油化学プラント並びに橋梁にいたる幅広い分野で活用されている非破壊検査技術は、政府が進める高度化・効率化に向けたスマート化・DX化に取り組みされており、経済産業省として感謝申し上げます。」と述べられた。続いて、日本非破壊検査協会の阪上隆英会長は「当協会は産業界との連携が重要であり、とりわけ日本非破壊検査工業会とは永年にわたり緊密な関係を継続している。昨今の労働人口減少による非破壊検査従事者の減少や高齢化の傾向



記念講演のもよう



記念式典のもよう

齊藤鉄夫  
国土交通大臣安田篤  
経済産業省  
産業機械課長阪上隆英  
JSNDI会長栗飯原周二  
JWES会長

のなか、人材育成や技術伝承の重要性が増している。社会の安全・安心を支える非破壊検査技術者の育成と技術伝承に、ともに協力し歩んでいければと考えている。」と、日本溶接協会の栗飯原周二会長は「溶接は非破壊検査と強い関係がある、溶接構造物の信頼性は設計・施工・管理だけで成り立つものではなく検査があつて初めて溶接構造物の健全性が確保される。非破壊検査業界には永年お世話になっており、今後もどうかよろしくお願ひしたい。」とご祝辞をいただいた。特別功労賞は工業会の盤石なる礎を築かれた歴代理事長4名（若尾正、中山一徳、南部和男、松村康人）に、感謝状は日頃より当工業会の活動に、ご理解とご協力を示され今日の発展に貢献賜りました、以下の関連学協会13団体に長岡康之理事長より手渡された。

### 〔感謝状授与13団体〕

危険物保安技術協会、高圧ガス保安協会、一般社団法人CIW検査業協会、公益社団法人石油学会、一般財団法人全国危険物安全協会、一般社団法人日本エルピーガスプラント協会、一般社団法人日本検査機器工業会、一般社団法人日本高圧力技術協会、一般社団法人日本非破壊検査協会、一般財団法人日本溶接技術センター、一般社団法人日本溶接協会、一般財団法人発電設備技術検査協会、放射線障害防止中央協議会（あいうえお順）

**K 経験豊富な実績**

**E 笑顔で、業務に取り組みます**

**I いつでもどこでもあらゆるニーズにお応えします**

放射線透過試験／超音波探傷試験／磁粉探傷試験／浸透探傷試験  
過流探傷試験／漏れ探傷試験／レーダー探査／気密・耐圧試験

**KEI 京浜検査工業株式会社**

原子力規制委員会使用許可・CIW認定業者

本社：横浜市金沢区福浦2-6-10

TEL：045-701-2072 FAX：045-784-4100

山形営業所：山形県南陽市若狭郷屋253-2

TEL：0238-43-8100 FAX：0238-43-8108

**豊かな経験・確かな技術**

非破壊検査全般 ◆ 建築物設備配管劣化診断 ◆ コンクリート躯体調査・埋設物調査

**JASCO 株式会社 ジャスコ**  
JAPAN SKIAGRAPH CO., LTD.

本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-23-3  
TEL 045 (473) 5140 FAX 045 (473) 5141

札幌営業所 〒003-0833 札幌市白石区北郷3条11-4-20  
TEL 011-875-4166 FAX 011-875-0666

E-mail: eigyou@kk-jasco.co.jp http://www.kk-jasco.co.jp/



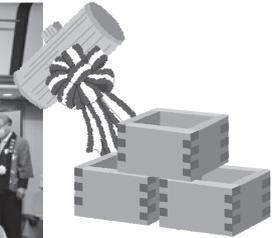
# 創立50周年記念祝賀会

式典後の祝賀会は、会員企業や関係団体・一般招待者など約160名の出席があった。松村康人50周年記念実行委員長、長岡康之理事長の開会の辞に続きご祝辞をいただいた。元国土交通大臣の太田昭宏公明党常任顧問は「中央自動車道の笹子トンネル天井板崩落事故が起きた2012年12月に国土交通大臣に就任した。翌2013年には老朽化対策等に取り組む『社会資本メンテナンス元年』を訴え、日本非破壊検査工業会の皆様には大変ご尽力いただいた。この創立50周年を契機にしてさらに頑張ってもらうことで、安全・安心な国民生活に貢献する。」とお言葉を頂戴した。国土交通省の山田邦博国土交通事務次官は「老朽化した多くの社会インフラを維持管理し、健全なものとするには技術者が必要だ。国土交通省は新3K（給与・休暇・希望）を実現するため取組を実施しており、さらに『カッコいい（きれい）』を加えた新4Kで非破壊検査のデジタル化を推し進めることで、新たな担い手の確保の目玉になると思っている」とご祝辞をいただき、お忙しい中駆けつけていただいた古屋範子衆議院議員、鰐淵洋子衆議院議員、山本かなえ参議院議員、佐々木さやか参議院議員からもお祝いの言葉をいただいた。

祝電の披露に続き、長岡康之理事長、松村康人実行委員長、古屋範子衆議院議員、阪上隆英日本非破壊検査協会会長、栗飯原周二日本溶接協会会長による鏡開きと、阪上隆英会長のご乾杯のご発声で和やかに歓談が始まった。催し物として弦楽四重奏団ロザカルによるクラシックの名曲をBGMに、歓談の輪が広がり久しぶりとなる祝賀会を満喫しているようすがうかがえた。宴たけなわのところ錦戸陽介副理事長のご発声により中締めとなった。



鏡開き



祝賀会（乾杯のもよう）



祝賀会（議員の方々と新理事長と副理事長）



太田昭宏  
公明党常任顧問



山田邦博  
国土交通事務次官



古屋範子  
衆議院議員



鰐淵洋子  
衆議院議員



山本かなえ  
参議院議員



佐々木さやか  
参議院議員

**見えないものを『見る』技術**  
**検査・調査のエキスパート**  
**SHIN 株式会社 シンワ 検査**  
 ・ISO(9001)品質システム認証事業者(本社)・CIW認定事業者  
 ・一般建築士事務所 ・一般建設業許可  
**コンクリート内部調査(エックス線、レーダ)**  
**建築物・土木構造物調査診断**  
**非破壊検査・品質管理・派遣業務**  
 本 社 〒224-0025 横浜市 都筑区 早瀬 1-22-15  
 TEL: 045-590-0780 FAX: 045-590-0781  
 URL: <https://www.shinwa-kensa.co.jp> E-mail: [yokohama@shinwa-kensa.co.jp](mailto:yokohama@shinwa-kensa.co.jp)  
 関西営業所 TEL: 06-4961-6471 FAX: 06-4961-6472  
 静岡営業所 TEL: 054-340-6880 FAX: 054-340-6881  
 名古屋営業所 TEL: 052-734-3501 FAX: 052-734-3502  
 奄美営業所 TEL: 0997-54-9171 FAX: 0997-54-9171

アンカー工事  
 スタッド  
 ハツリ  
 耐震補強  
 引張試験  
 レントゲン  
 鉄筋探査  
 ギャスク  
 アクリル  
 打設  
 工事  
 ダイヤモンド  
 コアビット  
 ハンドカッター  
 カップサンダー  
 道路用ブレード  
 販売  
 社団法人 日本建設あと施工アンカー協会加盟  
**中央総業株式会社**  
 神奈川相模原市南区相模大野3-20-1 中央総業ビル4F  
 ☎ 0120-07-1222 FAX 0120-07-5585

## 関西支部 令和4年度 支部定期大会を開催

6月2日、令和4年度関西支部定期大会が3年ぶりに参加者29名を迎え和歌山県和歌山市深山の「休暇村 紀州加太」で開催された。

錦戸陽介副支部長の進行のもと富田裕樹関西支部長は、冒頭の挨拶で当工業会及び支部活動に対する会員各社の協力への謝辞を述べ「3年目となったコロナ禍やウクライナでの戦争などで世界経済の先が見通せない状況ではあるが、日本経済は少しずつ回復基調にある。当工業会も創立50周年を迎え、会員サービスにオンライン講習やe-ラーニング等の導入も進んでおり、各会員が各委員会のオンライン会議や行事等にも積極的に参加していただき、当工業会の発展に協力していただくことを希望する。」と挨拶した。

その後、新たに就任予定の的場正文副支部長、山中伸晃支部教育委員長、小池幸洋監査の紹介に続き、令和3年度事業報告・決算報告及び監査報告、令和4年度会務担当及び運営体制・事業計画・収支予算が担当幹事及び監査から報告された。引き続き、富田支部長より各表彰者へ表彰状と記念品の授与が行われ、中でも令和3年度をもって支部幹事を退任された梶岡昌三氏には、永年にわたる支部活動への貢献の労をねぎらい「工業会活動協力賞」が手渡された。今回の特別講演は、和歌山市語り部クラブによる、ホテルから眺望できる瀬戸内海国立公園の一部である「友が島」についての歴史や観光スポットの紹介等が行われた。

定期大会終了後、眺望が素晴らしい露天風呂につかり旅の疲れを癒した懇親会出席者は、川崎博義幹事の司会進行のもと、的場正文副支部長の挨拶、八木洋児元監査の乾杯の音頭で開宴した。コロナ禍の中で3年ぶりとなる懇親会は、会員同士の対面会食で親睦と情報交換が図られた。翌日は24名による懇親ゴルフが85年を迎える大阪ゴルフクラブで開催され、変化に富んだシーサイドコースを満喫し今回の令和4年度関西支部定期大会は無事終了した。



支部大会のもよう

富田裕樹  
関西支部長

## 機材支部 令和4年度 支部定期大会を開催

令和4年度機材支部定期大会が6月10日に大田区産業プラザにて18社28名(内4名はオンライン)出席のもとハイブリッド形式で開催された。新型コロナウイルス感染症の影響で中止やオンライン配信としていたが、対面形式となるのは3年ぶりとなる。

林利昭幹事による開会宣言の後、猿渡保支部長より「昨年度の機材支部活動は、コロナ禍の影響で一部では中止となったものの、会員会社の協力・支援のもと、オンライン等を活用し出来る限り開催した。今年度は、ウクライナへの軍事侵攻による食料・原材料高や20年ぶりの円安などの不安材料はあるが、非破壊検査業界の発展に向け監督官庁及び関係機関と連携を図り、非破壊検査技術の普及・振興に努め、開かれた組織改革にも取り組む。」と述べ、会員各位の理解と協力を求めた。

次に、令和3年度の事業・決算報告及び監査報告、令和4年度の幹事・会務担当役員及び事業・予算計画等が報告された。続いて、工業会活動協力賞等の授与式が行われ、最後に相村英行前副支部長より閉会の辞及び退任のご挨拶があった。

今大会では、新潟県佐渡市にある大願寺第41代住職であり、大正大学准教授でもある臼木悦生先生による「組織の持続にとって必要な機能は、今も昔も変わらない!」と題した特別講演が行われた。企業も社会も集団であることに着目し、集団(組織・共同体)を維持していくための装置とはなにか、ポイントとなる「象徴(シンボル)・「儀礼」を挙げた、大変興味深い講義であった。

その後、新型コロナウイルス感染症対策としてテラスのある会場に移動して、3年ぶりとなる対面での会員交流会が和やかに行われた。



支部大会のもよう

猿渡保  
機材支部長特別講演  
大正大学准教授  
臼木悦生先生

**道路橋点検業務に「インフラ調査士」等の資格保有者を義務付けへ**

5月9日の参院決算委員会において、秋野公造参議院議員（公明党非破壊検査技術振興議員懇話会会長）は、インフラの老朽化対策に関し、道路橋の点検の質を確保するため「（点検に）インフラ調査士などの資格保有者を義務付けるべきではないか」と質問した。

斉藤国土交通大臣は、「道路橋の管理を適切に実施していくためには、定期点検の質の確保が重要であり、現場で点検業務を行う技術者が十分な知識・技能を保有していることが望ましいと考えている。」と述べたうえで、国土交通省としても点検技術者の確保・育成を目的として、一定の基準を満たした民間資格を国土交通省登録資格とする制度を導入していると説明し、その一例として日本非破壊検査工業会が認定している「インフラ調査士」を挙げた。また、地方整備局が道路橋の点検業務を発注する際には、国土交通省登録資格を持った技術者の配置を予定する場合は、入札時の総合評価で加点するなど、資格保有者の活用促進を促してきた。更に、国土交通省が管理する道路橋の点検には、令和5年度から国土交通省登録資格などの資格保有者を、担当技術者に義務付けることとしていると説明したうえで、「今後もより一層、点検の質の向上を図るため技術者の育成や活用などに努めていく」と述べた。



参院決算委員会  
斉藤国土交通大臣  
「インフラ調査士」資格等而言及

これを契機に、現場における「インフラ調査士」のより一層の活躍が期待される。

**非破壊検査「標準積算資料」第12版を発刊**

広報部会では、平成16年に標準積算資料初版を発刊し、掲載内容の見直しや充実を図って版を重ね、令和4年6月に第12版を発刊した。第12版では、直接人件費、標準作業量、機材費、車両費などを見直し、渦電流探傷試験、鉄筋探査試験（電磁波レーダ法）、（電磁誘導法）、の「手順書」を追加し、その他手順書を見直した。今後もそれぞれの産業分野に対応できる非破壊検査法を追加して、更なる内容の充実を図り、業界の実態に則した適正な資料として、顧客要求を満足する検査サービスの提供、安全安心社会の構築に貢献していく。



**JEC 日本エンジニアリング株式会社**

- ◇ 鋼、コンクリート構造物の調査・各種試験
- ◇ 各種プラントの目視検査・非破壊検査
- ◇ その他非破壊検査業務全般

〒210-0012  
川崎市川崎区宮前町7番15号  
TEL 044-245-8311  
FAX 044-245-8318  
E-mail jec@nihoneng.jp  
URL http://nihoneng.jp/homepage/

未来を見守る  
確かな技術

安全で安心な  
生活環境を  
目指して  
非破壊検査と焼鈍工事の

**ユキビルド 株式会社**

〒210-0808 川崎市川崎区旭町1-9-10  
TEL:044-222-3222 FAX:044-201-6532

お客様と社員に信頼される  
企業でありつづける

**溶接検査株式会社**

本社：〒985-0874  
宮城県多賀城市八幡2-16-10  
TEL：022-365-6040  
FAX：022-366-3556  
URL：http://yosetsukensa.com

出張所：青森・山形・秋田

CIW 認定 A種 想像から創造へ 今感動の技術  
労働者派遣事業許可  
ISO9001 認証 JMAQA-1749

**株式会社 ダンテック**

- 非破壊試験検査全般
- 建築・土木構造物調査診断
- 各種プラント保守点検
- 各種設備・配管劣化調査
- 品質管理
- 破壊試験・化学分析等材料試験

本社 〒530-0043 大阪市北区天満4丁目14番13号  
TEL.06(6354)3641 FAX.06(6354)2707

## 基礎講習会

機材支部計測分科会は、東日本支部技術委員会の協力を得て4月14・15日の両日、川崎市川崎区の日本溶接技術センターで「新入社員のための非破壊検査基礎講習会」を開催した。非破壊検査の基礎及び理解・普及を目的とした講義と実習で構成した講習会には、検査会社や機材メーカーなどから17名が受講した。



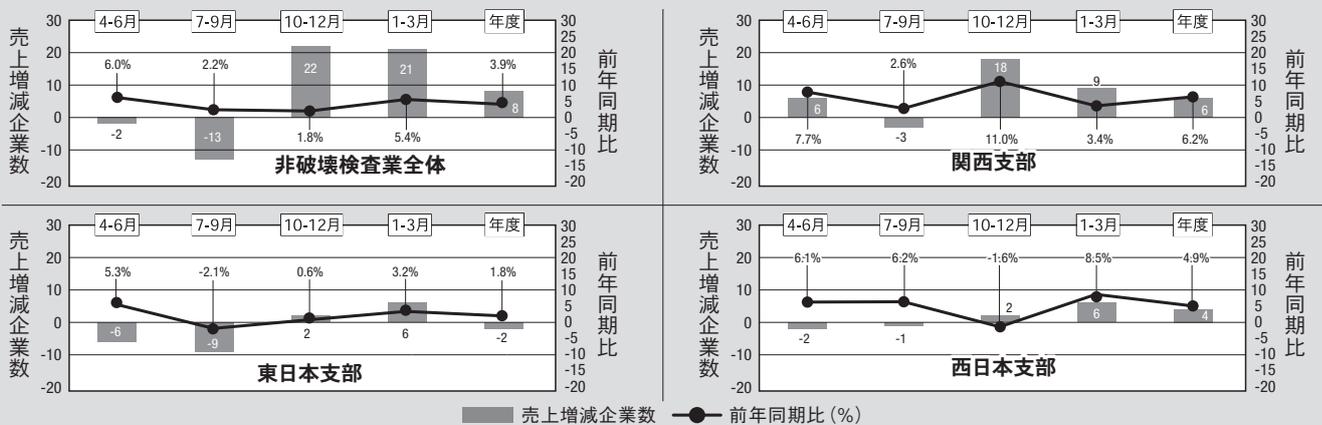
基礎講習会のもよう

講習会は、新入社員や検査機器に触れることが少ない事務系職員などを対象とした初心者向けの内容となっており、非破壊検査概論や溶接に関する講義、各種の検査手法に関する基礎講習や実機を使用した実技講習も行われた。

主催者を代表して堀充孝機材支部技術委員長は「座学と実習を通して、いろいろなことを体験するなど積極的に楽しんでください」と、開講の挨拶を述べた。

### 各支部会員 会社の景況感

月次売上調査の集計結果を前年同期比として纏め下図に示す。売上増減企業数は、前年同期に対して売上の増加した企業数から、減少した企業数を減じた企業数を表す。また、前年同期比は各支部の前年度売上高に対する増減の割合を表す。2021(令和3)年度の非破壊検査業全体の前年度売上高は104%となった。下半期は売上増となった企業数が過半数を超えた。昨年6月の第5波は、ワクチン接種率向上等の効果で減少傾向を示し9月にピークアウトした。1~3月の第6波となるオミクロン株の感染拡大は、重症化リスクが低く軽微な影響であったと推測される。



### “診る”を究めて

人と技術を「安全」という強固な絆で結び、「安心」を提供します。

### 新日本非破壊検査株式会社

営業本部 〒803-8517 北九州市小倉北区井堀4丁目10番13号  
 TEL: 093-581-1234 FAX: 093-581-4567  
 東京営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-19  
 渡林日本橋ビル 2F  
 TEL: 03-6661-1307 FAX: 03-6661-1308  
<https://www.shk.co.jp>

## EVIDENT | OLYMPUS

待望の64モデルの新製品がついにリリース  
 OmniScan X3 と同じ重さ・大きさで64:128PR仕様を実現



OmniScan シリーズの最高峰  
**OmniScan X3**

64 素子同時励 (TFM は 128)  
 6kg 弱の小型・タフ設計  
 圧倒的な使い易さ

株式会社エビデント ☎0120-58-0414 (フリーダイヤル) [www.EvidentScientific.com](http://www.EvidentScientific.com)

### 小型・軽量で大画面

### ポータブル超音波探傷器 USFD-20

安心の2年間製品保証!  
 (最長5年までの延長契約あり)

操作動画は  
[こちら](https://www.kjtd.co.jp)



寸法: 198×128×52 mm  
 重量: 0.84kg (バッテリー含む)

INDEX 株式会社 KJTD

本社 大阪府大阪市角田1丁目9番29号  
 大阪事業所 TEL (072)965-6231(代) FAX (072)962-6236  
 Email: usfdinfo@kjtd.co.jp



### サンコウの測定器・検査機器

### ピンホール探知器・膜厚計

◆ピンホール探知器  
 絶縁皮膜の欠陥探知に!

◆膜厚計 SWFTシリーズ



**SANKO** 株式会社サンコウ電子研究所

東京: 03-3254-5031 大阪: 06-6881-1230 仙台: 022-292-7030  
 名古屋: 052-915-2650 福岡: 092-282-6801  
 URL <https://www.sanko-denshi.co.jp>

**第16回 インフラ調査士資格試験を実施**

5月19日インフラ調査士資格学科試験（一次試験・再試験）が東京・関西で同時に行われた。

【学科試験】新規受講・受験者数：57名、再試験者数：21名  
 【二次試験】7月28日～29日 試験会場：川崎市産業振興会館  
 （神奈川県川崎市幸区堀川町66-20）

資格	橋梁 (鋼橋)	橋梁 (コンクリート)	道路 トンネル	付帯施設
受験者数	61名	65名	62名	71名
合格者数	49名	48名	46名	22名

**第28回 配筋探査技術者資格試験を実施**

6月1日「コンクリート構造物の配筋探査技術者資格認証学科（一次）試験」が実施された。受験者情報は表のとおり。

実技（二次）試験結果						
	関東	関西	九州	受験者合計	合格者	合格率
新規受験	54名	52名	32名	138名	113名	81.9%
建築資格取得のための受験	0名	0名	0名	0名	0名	—%

実技（二次）試験日程予定			
受験地	関東(川崎市)	関西(大阪市)	九州(北九州市)
日付	8月 23日～26日	8月 16日～18日	8月 5日～6日

**講習会開催情報**

インフラ調査士講習会	[教育部会]	4月8日	オンライン (Zoom) のリアルタイム講習会	受講者 58名
配筋探査講習会	[教育部会]	4月25日	オンライン (Zoom) のリアルタイム講習会	受講者 93名
基礎講習会	[機材支部計測分科会]	4月14日～15日	日本溶接技術センター (川崎市川崎区)	受講者 17名

**会員動向** 令和4年6月30日現在 199社（東日本支部77社、関西支部44社、西日本支部44社、機材支部34社）

**入会**

■東日本支部 株式会社広宣 代表取締役 原田直司 〒371-0835 群馬県前橋市前箱田町148-1 KSビル1階  
 電話:027-256-8062 FAX:027-256-8063 E-mail:info@kousen-i.co.jp (令和4年4月1日付)

■関西支部 DHI株式会社 Chair Person 増田真之 〒675-0039 兵庫県加古川市加古川町粟津1116  
 電話:079-423-3357 FAX:079-423-3367 E-mail:info@dhi.jp (令和4年4月1日付)

**インタラクティブ超音波探傷器**

**Wave**

インタラクティブ超音波探傷器WAVEは新世代のポータブル探傷器です。優れたUT性能とわかりやすい表示機能、扱いやすいハードウェアを備えた革新的な装置です。

- 日本語表示 ● JIS-DAC 対応
- Utouch テクノロジー  
最新の静電容量式タッチパネルを採用して、手袋を使用しても接触探傷が附着していても誤動作することはありません。
- レイトレーサースキャン表示  
被検体の断面図にAスコープを投影することで、簡単に反射波の位置を特定することができます。

ISO 9001 認証  
JIS 認証

**ポニー工業株式会社**  
www.ponyindustry.co.jp  
大阪 TEL 06-6262-6510 東京 TEL 03-5472-1091

**ケーブルレスのLEDブラックライト**

**紫外線探傷灯**

**スーパーライト C-10LB**

**MARKTEC**  
マークテック株式会社 営業部  
【東京】03-3765-1712  
【大阪】06-4861-3700

新登場

**非破壊検査機器の販売・修理・校正・レンタル**

支える、の一番近くに。

**RIKOH-S** 理工サービス株式会社

〒733-0035 広島市西区南観音6丁目3番10号  
 TEL:(082)292-2552 (代) FAX:(082)295-0566  
 E-mail:rikoh@rikoh-s.com URL:http://www.rikoh-s.com/

**VIEWWORKS**

**非破壊検査用フラットパネル検出器**

新発売!  
IGZO TFT 製品

静的検出器 動的検出器

日本ビューワークス株式会社  
 1350064 東京都江東区青海 2-7-4 the SOHO 938  
 TEL 03-5579-6516 www.viewworks.co.jp